

益城町

議会だより

清水

せい

すい

つきたてのモチは  
うまいなあ～

令和7年(2025)

12月

定例議会

No.98

令和7年度一般会計補正予算	..... P2
条例改正	..... P3
常任委員会レポート	..... P6・7
町政を問う(10人)	..... P8

令和7年第4回定例議会は、12月8日から16日まで9日間の日程で開催された。令和7年度益城町一般会計補正予算等（4件）、条例改正（4件）、その他7件及び人事案件2件について審議し、全議案とも可決・制定等した。そのほか、報告4件が出された。また10日、11日に10名の議員が一般質問を行った。

# 令和7年 第4回 定例議会

# 令和7年度一般会計補正予算(第4号)

街路事業費等で、約12億円を補正

## ■ 主な補正項目と補正額

主要補正項目		補正額
歳入	町 税	287,894
	国庫支出金	314,704
	ふるさと納税	250,000
	繰入金	△ 237,700
	町 債	395,700
	計 (すべての補正を含む)	1,200,808
歳出	ふるさと納税業務委託料	120,765
	社会福祉総務費	106,990
	潮井公園線外整備工事費	120,000
	街路事業費	330,000
	消防団詰所建設工事費(寺迫)	40,000
	農業用施設災害復旧工事費	44,800
	計 (すべての補正を含む)	1,200,808



馬水橋下流秋津川浚渫(しゅんせつ)予定地

解說

歳出の主な補正は、社会

**解説** 歳出の主な補正は、社会福祉総務費は介護・訓練等給付費の利用者増加見込みで1億699万円、東西線・南北線・第2南北線等の街路事業費3億3000万円、ふるさと納税額の2億5000万円増に伴う業務委託料経費1億2076万5千円など。  
債務負担行為補正では飯野小学校放課後児童クラブプレハブ整備事業に2300万1千円、地方債補正では、秋津川の浚渫改良工事費5000万円などが追加された。

質疑応答	秋津川浚渫改良工事費	問 秋津川の雨水ポンプ場 周辺の浚渫改良工事の 概要と浚渫を行う理由は。 答 秋津川の維持掘削は県 が行うが、町内の内水 被害を軽減するため、雨水ボ ンプ場下流域の流下能力改善 が必要不可欠と考えた。
潮井公園線の道路改良		

答 内容を聞きたい。	問 工作物等補償費の1億2700万円の場所と 社会福祉施設で、解体	賠償金工作物等補償費 工事費として1億1000万円で、工事場所は益城町から西原村に行く町道農免道支線の入り口から南側へ約300mを計画している。	答 のあたりを改良するのか。
---------------	---	---	-------------------

学校施設環境改善交付金	広安西小学校の学校施設環境改善交付金が不採択となつた理由は。
答 広安西小学校トイレ改修工事（2期）、図工室をバリアフリー化し特別支援教室を増やす工事だったが、文科省が今年度は危険建物新築や熱中症対策等を優先するため不採択となつた。	

対応していく。	答 で場所は何処なのか。	防犯灯の修繕料が計上されているが、何か所	落雷等により防犯カメラの修繕が複数台あつたことから予算が不足したも
			して優先度の高いところから

れており、国の基準等を踏まえて適切に対応している。

**答** 工事費として1億1000万円で、工事場所は益城町から西原村に行く町道農免道支線の入り口から南側へ約300mを計画している。

れており、国の基準等を踏まえて適切に対応している。

## 条例改正等の審議

益城町文化会館・益城町立幼稚園など、本町に関する条例4件について改正するもので、慎重審査の結果、4議案とも可決・制定した。

い。  
がどのようなものか伺いた  
更を行う理由と、第3練習室

## 問 益城町文化会館の条例 改正について、料金変

質疑應答



文化会館

ついて、利用者の利便性及び利用率の向上を図るため、施設使用料の一部を減額するもので、第3練習室使用料の1時間300円(夜間350円)を100円への変更をはじめ、所要の減額変更をするものである。

## 文化会館使用料の減額

**答** 狹小のため、イベント時の荷物置き場の使用が多く、本来の練習室としての使用がなされてない。

会生活を総合的に支援するための法律」に基づく日常生活用具の給付事務において、マッチンバーの独自利用事務として位置づけ、情報連携を可能とし、住民の利便性向上と行政の効率化を図るためのものである。

幼稚園の入所者数が減少傾向にあることから、今後、幼稚園園児数の実態に応じた適切な教育環境を維持するため、条例の一部を変更するもので、益城幼稚園の定員を150人から90人へ変更するものである。

マイナンバーの利用拡大により住民の利便性を図る

## 「障害者の日常生活及び社

文化会館第3練習室

利用率向上のために他施設との差別化を図り、試行的に実験を行つてみたいと考えている。

選挙運動の公費負担変更

公職選挙法施行令等の改正により、選挙運動の公費負担額が引き上げられたことに伴い改正するもので、主な改正内容は、選挙運動用のビラ作成単価「7円73銭」を「8円38銭」に、ポスター作成単価「541円31銭」を「586円88銭」に変更するものであ



益城幼稚園

幼稚園児の定員削減

**選挙運動の公費負担とは**

# 工事請負契約・人事案件等の審議

工事請負契約の締結3件・工事請負契約の変更1件・人事案件2件・町道の路線廃止1件・認定1件について審議し、全議案とも可決・同意した。また、4件の報告を受けた。



## 益城インター北産業団地造成 解説

本産業団地は、当町の地理的・交通的優位性、豊富な水資源を活かし、半導体関連企業を中心とした産業用地不足の解消に貢献するため、本町初の町施工の工業団地として整備を計画された。

## 益城インター北産業団地 造成工事（3工区）

### ○工事内容

産業団地の宅地造成工事

### ○契約金額

442,172,500円

## 益城インター北産業団地造成工事（2工区）

### ○工事内容

産業団地内治水対策を目的とした調整池土木工事一式

### ○契約金額

363,645,700円

## 益城インター北産業団地 造成工事（4工区）

### ○工事内容

産業団地の宅地造成工事

### ○契約金額

185,460,000円

## 工事請負契約の締結 賛否討論

※本議会における個人の発言をまとめたものです。

### 反対者 宮崎議員

本議案は、本町で初めて、本町の工事業者により、企業体を構成し、工事を請け負う画期的な事だと思う。しかし、条件付き一般競争入札としては、3工区に3個の企業体が応札し、1回で、まんべんなく3企業体に落札され、落札された2つの工区の落札率が、96・04%で、確率論から競争が不十分と疑義に感じ反対す

## 賛成者 松本議員

町主体で進める初の産業団地整備として、その重要な役割を担っていることと思う。

入札においても、「県の電子入札システムを利用しており、

透明性と公平性は、保たれている。」と説明もあっており、何も問題はないと考え賛成する。

## ○教育委員会任命同意について 任期満了に伴い、新たに推薦された次の候補者を適任と同意した。

### 藤岡卓雄 氏（新任）

本会議の初日に、町長からすでに町長が決裁した4件の報告があった。

## 町長委任決裁事項の報告

### 損害賠償の額の決定

金額 74,400円

車両と衝突した物損事故

## 工事請負契約の変更 賛否討論

### ○広安西小学校トイレ改修工事（2期）の変更

### ○契約金額

80,729,000円

### ○変更金額

81,688,479円

### ○変更理由

下地モルタルを厚くする為

### 損害賠償の額の決定

金額 370,818円

車両と衝突した物損事故

## 人事案件

### ○教育委員会教育長任命同意について

任期満了に伴い、新たに推薦された次の候補者を適任

### 損害賠償の額の決定

金額 459,712円

金額 32,108円

自転車で転倒したことに

よる人身及び物損事故

### 信國満徳 氏（新任）

## 《12月議会での主な議案への賛否の状況》

	議案名	結果	坂井金次郎	木村正史	西山洋一	上村幸輝	富田徳弘	下田利久雄	吉村建文	甲斐康之	中川公則	野田祐士	宮崎金次	坂田みはる	中村健二	稻田忠則	渡辺誠男	荒牧昭博	松本昭一	議長榮正敏	
予算	令和7年度益城町一般会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	—	
	令和7年度益城町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	—	
	令和7年度益城町産業団地特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	—	
	令和7年度益城町水道事業会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	—	
条例	益城町文化会館条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	益城町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	益城町議会議員及び益城町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	益城町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
その他	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	工事請負契約の締結について	可	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
	工事請負契約の締結について	可	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	工事請負契約の締結について	可	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
	工事請負契約の変更について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	町道の路線廃止について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	町道の路線認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	教育委員会教育長の任命同意について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	教育委員会委員の任命同意について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

○：賛成 ×：反対 棄：棄権 欠：欠席 可：可決 否：否決 同：同意 採：採択 認：認定  
 ※議長は賛否同数の場合を除き、通常の採決には加わりません。

# 常任委員会レポート

12月議会

総務

## 益城産業団地造成工事スタート

全委員出席のもと付託された9議案について審査し、6議案については原案のとおり全会一致で可決した。

3議案については賛成多数で可決した。

一般会計補正予算中、飯野小学校放課後児童クラブ整備事業について質疑があり、既存の放課後児童クラブ横に新たに整備を行うとの説明を受けた。

寺迫消防団詰所建設工事費について質疑があり、計上額は外構工事費も含んだ見込み額であり、建物の広さはこれまでと同様に確保できている。また、土地が町所有であっても既存の消防詰所と同様に借地料などの負担は求めないこと、駐車場用地の確保など統一的

な環境の改善を行うことは具体的には予定していないとの説明を受けた。

次に、小中学校のAED購入費について質疑があり、町が設置したAEDの保証期間切れに伴うものとの説明を受けた。また、学校内よりも体育館等に置くことを検討してほしい、学校でも先生に対しても使い方の講習を行つてほしいとの要望があつた。

益城インター北産業団地造成工事の条件付き一般競争入札に関して3件中2件の落札率が同率であったこと等を受け、競争原理は働いたのかと質疑があり、過去に町内業者のみのJVはなかつたこと、入札は県の電子入札システムを使用して

## 益城町立幼稚園の園児定員を「150人」から「90人」へ

全委員出席のもと付託された4議案について審査し、全議案、原案のとおり全会一致で可決した。

令和7年度益城町一般会計補正予算中、身体障害者補装具交付金の625万円について質疑があり、義足等の補装具は個々の障害の度合いに応じてオーダーメイドで制作されるため高額になるとの説明を受けた。

移動支援事業について質疑があり、同事業は介護タクシーのような移動手段の提供ではなく、病院内の付き添いや案内を行うもので専門事業所の職員が担当しており、現在の利用者は6人であるとの説明を受けた。

令和7年度介護保険特別会計補正予算中、介護サービス・介護予防サービス等緒費負担金補助及び交付金について、要介護と要支援内容の違いに関する質疑があり、自己負担率及び支援内容の違いに関する質疑があり、自己負担率について質疑があり、工事費用が高くなっている理由について質疑があり、工事費用が高くならないとの説明を受けた。



町民憩の家解体現場



産業団地水道整備地区外工事現場

なるとの説明を受けた。

町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定から、定員削減について、「90人」は減らしきりではないか、一時預かり事業を拡充したうえで、検討できなかとの質疑があり、幼稚園教育を望む声は認識しているが、入園者数の減少傾向は明らかであること、一時預かり事業は拡充を進めているため、幼稚園ニーズがあれば、定員見直しの検討を行うとの説明を受けた。

次に、町民憩の家解体工事現場について、工事概要について説明を受け、アスベストがどの箇所で使用されていたか質疑があり、トレン等の壁の塗料や煙突に使用されていたとの説明を受けた。

12月議会

## 常任委員会レポート

おり、透明性と公平性は保たれているとの説明を受けた。また、まず調整池を作る必要があることに加え、契約金額に応じて工事の規模が大きくなり、それに伴い工期も異なるとの説明を受けた。

学校管理費の修繕料について質疑があり、広安小学校のエアコン増設分と、木山中学校の図書室2台分・益城中学校の理科室と生徒会室のものであるとの説明を受けた。

また、木山中施設整備費について質疑があり、自転車置き場の整備費として計上しているものであり、自転車21台分の屋根の部分を増設するものであるとの説明を受けた。

視察した現場のうち、文化財企画展（益城町交流情報センター）について説明を受け、その後、担当者である学芸員よりそれぞれの展示内容について解説を

受けた。  
広安西小学校拡張用地（福富地内）については、現地において、購入した用地の活用方法について説明を受けた。益城インター北産業団地造成工事現場（惣領地内）では、現在の造成工事現場の状況を確認した。



益城産業団地



文化財企画展視察

## 建設経済

### 都市計画道路南北線工事進む

全委員出席のもと付託された6議案について審査し、全議案、原案のとおり全会一致で可決した。

令和7年度益城町一般会計補正予算中、農地集積・集約化等対策事業について質疑があり、福原・川内田地区を対象とした事業で、補助金の内容は、機構集積協力金と集約化奨励金を合わせた233万円となっており、土地の貸借期間10年間で1回のみの交付であると説明を受けた。

地籍調査登記業務委託料の事業内容について質疑があり、熊本地震による再調査を杉堂・小谷・田原地区で行っている。その他の山間部については、航空写真を用いた航測法で行っていくとの説明を受けた。

秋津川河川浚渫改良工事費について実負担金額及び工事内容について質疑があり、事業



都市計画道路南北線（安永地内）

産業団地特別会計補正予算の債務負担行為については補正内容について質疑があり、産

削として通常時水面より上の高さで工事を行うと説明を受けた。

業団地整備事業の監督支援業務委託に伴う債務負担行為の限度額増額への対応であるとの説明を受けた。また、現在の限度額内での予算流用で対応を行うことの可否等の質疑があり、戸内で調整を行い改めて回答するとの説明を受けた。

視察した都市計画道路南北線については、用地取締率は96%であり、排水調整池の規模も決定したとの説明を受けた。



町道 潮井公園線

## 次期町長選挙に出馬し

完全復興と新たなまちづくりを目指し、次期選挙に挑戦する



**富田德弘議員**

**富田** これまでの3期12年での西村町政、熊本地震からの復旧・復興に注力された10年間を振り返つてどのように総括・自己評価されているのか。

町の将来像とその実現に向けての課題、講じるべき政策・対策について伺う。

**町長** 震災後、まずは被災された方の生活再建を最優先に復旧事業に取り組むとともに将来を見据えたまちづくりのため町民の「想い」や「声」を反映した復興計画を策定した。この復興計画を復旧・復興の原点として3期目に八つの公約を示し事業を展開した。一定の成果を挙げることができたと考えている。

将来に向けての施策等については、特に新たにぎわいづくりや農業振興

**富田** 町長のこれまでの経験と実績、自ら築いた国・県との信頼関係等々次期町長選舉に出馬し、担つていただきたいと思ふがいかがか。

**町長** 国・県から数々の特別な財政支援を引き出し町財政の悪化を最小限にとどめながら復旧が実現できたものと考えている。将来自ら見据えた新しい益城町を創り上げていくには、政策や事業を選択する決断力と実行力が求められ、それに応える経験と情熱が私にはある。熊本地震からの完全復興と町の新しい健づくりに全身全霊、全力で取り組むことを約束し、次期町長選舉に挑戦することを表明する。



## 熊本地震からの完全復興

**畠田** 今後、重点的に取り組む事業は。  
**町長** すぐには取り組むべき事業、10年後20年後を見据えて取組む事業など構想として描いている。いくつか挙げると防災機能を備えた公園の整備教育関係では小中学校体育館への空調設備の導入と小学生の給食費の無償化などを進める。  
詳細については、今後を示していく。

**吉村** 他自治体での感震ブレーカー助成制度の事例を踏まえ、本町として同様の制度導入を検討する考えは。

**町長** 現在、感震ブレーカーに対する補助制度は設けていないが、感震ブレーカーは地震火災予防に一定の効果が見込まれることから、対象要件や補助金額など先行自治体を参考に本町のニーズや公平性などを考慮し制度導入に対する検討を進めしていく。

**吉村** 予約制乗合バス「のるーとUMEらいん」の運航実績、効果、今後の展望等について聞きたくために、どのような



運行している「のるーとUMEらいん」

**吉村** 他自治体での感震ブレーカー助成制度の事例を踏まえ、本町として同様の制度導入を検討する考えは。

**町長** 現在、感震ブレー  
カーに対する補助制度は設けていないが、感震ブレー  
カーは地震火災予防に一定の効果が見込まれることから、対象要件や補助金額など先行自治体参考に、推進していく。

**町長** 一日当たりの平均利用者数の目標20名以上に対し、実績が約24名となつており、それ以上の利用者増を目指す。住民の移動手段の確保と移動利便性の向上に向けた取り組みを推進。今後は、今までの周知活動と併せ、他自治体の周知活動等を参考に、推進していく。

感震ブレーカー設置」に  
対する助成制度の検討は  
本町のニーズや公平性などを  
考慮し制度導入を検討する



吉村建文議員

畠田 これまでの3期12年、西村町政、熊本地震からの復旧・復興に注力された10年間を振り返つてみると、どのように総括・自己評価されているのか。町の将来像とその実現に向けての課題、講じるべき政策・対策について伺う。

町長 震災後、まずは被災された方の生活再建を取り最優先に復旧事業に取り組むとともに将来を見据えたまちづくりのため町民の「想い」や「声」を反映した復興計画を策定した。この復興計画を復旧・復興の原点として3期目に八つの公約を示し事業を展開した。一定の成果を挙げることができたと答えておる。

将来に向けての施策等については、特に新たにさわいづくりや農業振興

**畠田** 町長のこれまでの経験と実績、自ら築いた国・県との信頼関係等々次期町長選挙に出馬し、引き続き町の舵取りを担つていただきたいと思ふがいかがか。

**町長** 国・県から数々の特別な財政支援を引き出し町財政の悪化を最小限にとどめながら復旧が実現できたものと考えている。将来を見据えた新しい益城町を創り上げていくには、政策や事業を選択する決断力と実行力が求められ、それに応える経験と情熱が私にはある。熊本地震からの完全復興と町の新しい礎づくりに全身全霊、全力で取り組むことを約束し、次期町長選挙に挑戦することを表明する。

**畠田** 今後、重点的に取り組む事業は。  
**町長** すぐには取り組むべき事業、10年後20年後を見据えて取組む事業など構想として描いている。いくつか挙げると防災機能を備えた公園の整備教育関係では小中学校体育館への空調設備の導入と小学生の給食費の無償化などを進める。  
詳細については、今後を示していく。

**吉村** 他自治体での感震ブレーカー助成制度の事例を踏まえ、本町として同様の制度導入を検討する考えは。

**町長** 現在、感震ブレーカーに対する補助制度は設けていないが、感震ブレーカーは地震火災予防に一定の効果が見込まれることから、対象要件や補助金額など先行自治体を参考に本町のニーズや公平性などを考慮し制度導入に対する検討を進めしていく。

**吉村** 予約制乗合バス「のるーとUMEらいん」の運航実績、効果、今後の展望等について聞きたくために、どのような

**吉村** 他自治体での感震ブレーカー助成制度の事例を踏まえ、本町として同様の制度導入を検討する考えは。

**町長** 現在、感震ブレー  
カーに対する補助制度は設けていないが、感震ブレー  
カーは地震火災予防に一定の効果が見込まれることから、対象要件や補助金額など先行自治体参考に、推進していく。

**町長** 一日当たりの平均利用者数の目標20名以上に対し、実績が約24名となつており、それ以上の利用者増を目指す。住民の移動手段の確保と移動利便性の向上に向けた取り組みを推進。今後は、今までの周知活動と併せ、他自治体の周知活動等を参考に、推進していく。

**吉村** 旧第2幼稚園の跡地の活用について伺う。  
**町長** 永寶株式会社から寄附の申し出があり、教育・福祉分野での活用と、可能な限り迅速な整備を希望され、不登校児童生徒の居場所である「フレンドネットの施設」と「町社会福祉協議会の事務所」を併設する施設に決定した。



吉村建文議員

## 令和7年度益城町中期見通し(要約)

【歳入】 (単位:百万円)

	令和6 決算額	令和7 見込額	令和8 見込額	令和9 見込額
町債	2,789	3,832	2,073	2,233
歳入計	23,502	22,414	20,725	20,996

【歳出】 (単位:百万円)

	令和6 決算額	令和7 見込額	令和8 見込額	令和9 見込額
公債費	2,580	3,194	3,610	4,120
歳出計	22,425	22,010	22,543	21,154

  

収支	1,077	404	-1,818	-158
町債残高	50,276	51,170	49,886	48,592
基金残高	3,309	3,119	1,051	893

町債とは 町が公共事業や災害復旧のために借り入れる借金  
町債残高とは 町が借り入れた借金の返済費用

町債とは 町が借り入れた借金の残高  
町債残高とは 町が借り入れた借金の残高

宮崎 令和6年度決算に基づき、令和7年度中期財政見通しが示された。左図がその要約で町債残高は502億円に増え、来年度以降その借金返済（公債費）が本格化し、令和9年度以降、歳出予算の五分の一以上となり、この状態が10年以上続く。しかし町は、令和8年から11年度までに新たな事業と起債を予定している。

町長 町では毎年、中期財政見通しを作成しており、令和7年度中期財政見通しでは、令和8年度から11年度までの起債を、街路事業等17億円、九州自動車道アンダーパス18

上村 ちょっと集まれる場所やカフェがほしいといつた声が多い。

整備が進む木山交差点角地には、オープンスペース広場のある商店街の町の当初計画があつたが、進捗はどうか。その声に応えるため、国道443号沿線運動公園南西側付近を町により買収開発し誘致していただきたい。

また町のにぎわいを作る上でも、このような要望が形づけられる整備を必ず行つていただきたい。

町長 益城町と民間の計画を統合した一体的なにぎわいづくりが町民のためとなる。整備について、現在、民間事業者と公民連携で協議を行つていい。ぜひ実現に向けて頑張っていきたい。

上村 以前から、道の駅や大型商業施設がほしいという声や、総合運動公園連絡協議会において商

業施設のみの開発を含む要望を行つていく。

上村 熊本地震の記憶と記録を継承していくことは、後々の防災減災に大きく意味を成す。4月14日～16日を町独自の防災の日として制定し、改めて防災について考える日としてはどうか。

町長 防災の日の制定は開発行為は、原則として厳しく制限をさせていた。大規模小売店立地法、都市計画法、中心市街地活性化法が改正と合わせ、2006年に施行され、都市計画法で定められた用途地域外の、郊外への出店は公共施設を含めて、原則として禁止されていいる。市街化調整区域活性化連絡協議会において商



整備が進む木山交差点

本町の財政状態は健全で、投資的経費が制限される状況はない



宮崎金次 議員

## オープンスペース広場のある商店街の整備を

ぜひ実現に向け  
頑張っていきたい



上村幸輝 議員



**厳しい町財政の立て直しを  
どのように図るのか**

毎年歳入歳出の両面に於いて  
不斷の取り組みを行つてゐる

**中村** 令和6年度の決算状況を見て気になったのは、自主財源が少ないこと、公債費(返す金)より町債(借りる金)が多いこと、特に経常収支比率(経常収入(一般財源)に対して経常的支出(経常経費)の割合)が97・3%で義務的経費以外に使える財源が少なくなっている、今後、広安小、広安西小の改修工事、木山仮設団地跡地の開発事業さらには、街路事業など大きな事業が残っているが、事業費の財源確保計画はどうなっているのか。



今後改修が見込まれる広安小学校

## 通学路の防犯カメラ

のため全校に設置できなか  
いか。また、各地域から  
危険箇所に設置の要望が  
あつた場合、設置可能か  
**教育長** 現在設置に向け  
て検討しているところだ  
が、全校設置となると、設  
置費用と相当の維持管理  
費が必要となることから  
近隣自治体の事例を調査  
している。



あんま・はり・きゅう治療費

## 補助金の増額を求める

来年度からの実施を目指す

**甲斐** あんま・はり・きゆうの治療費補助金の交付対象者は、「町に住所があり年齢40歳以上」「加入健保険の区別はない」「補助金は1施術700円で年間20枚まで」となっている。近隣自治体の補助金が1施術1,000円で町より高い。

ここ数年の利用状況は、予算に対し、使用割合75%にとどまっている。補助金を増額すれば利用状況は増加するのではないか。施術料は1回4,000円程度が相場と聞いている。町は、前議会で補助金の増額を求めた際他の自治体の動向等を踏まえ検討するとの答弁であった。検討の結果はどうなったか。

**町長** 他の自治体は、1,000円の補助となつてのこと、物価高騰等に

※いまの近隣自治体の補助金比較(概略)			
自治体	年齢	条件	補助金
益城町	40歳以上	加入健康保険の区別はない	1施術 700円
御船町 甲佐町 大津町 菊陽町 熊本市	年齢制限なし	国保、後期に加入している者	1施術 1,000円

個人井戸から国の暫定目標値を超える有機フッ素化合物(PFAS)が検出され、検出箇所から半径500m範囲の井戸水は飲用を控えるよう周知された。その後、県は井戸22本を調べた結果、すべて暫定目標値以下だった。これを受けて町は、水脈調査を行い、住民が安心できるよう自分の井戸の検査を行う場合費用の補助をすべきで、住民説明会も開く必要があるのでないか。



# 甲斐康之議員

## 初期消火のため、消防団のポンプを使いたい

消防団の意見を  
聞きながら検討する

- 坂井** 消防団員が少なく、特に昼間にいない。初期消火のため、自衛会役員のみで消防団の消火ポンプを使用できるか。防団員がいれば、使用できるか。
- ・自治会への可搬型消火ポンプ貸与はできるか
- ・住民は初期消火のため、自由に公共消火栓とホースを使用できるか。
- 消防法第36条の3第1項の損害補償の対象になるか。
- 町長** 火災現場付近に消防団員がいない状況下で、付近にいる方が、小型動力ポンプなど、消防団の資機材を使用することについては、消防団の意見を聞きながら検討する。
- 自治会への可搬型消火ポンプの貸与は、今のところは考えていない。
- 町が設置している消防栓、消火栓ボックス内のホースや資機材は、消防活動のために使用できる。
- 熊本県市町村総合事務組合の消防団員等公務災害補償等共済基金で、補償対象を定めている。消防隊到着前の応急消火等への協力、消防署員・団員等の要請による活動などでの負傷は、治療費・休業補償費が支給される。ただし、障害や死亡に対する福祉的補償は対象外である。



消防自動車・ポンプ等保管庫

- そのほかの質問事項**
- 坂井** 遊び場として校庭を開放する事業を。教育長 ニーズの把握が重要であり、調査研究が必要である。
- 坂井** 町の普通財産の土地で明確な用途の決まっていない面積は。町長 約238haで98%は山林である。



坂井金次郎議員

## DV等支援措置は適切に運用しているか

事実確認、事実精査により  
判断と決定をしている

- 野田** DV等支援措置を健全な形で利用することには賛成だが、対象外の方が申請されるなどの悪用により被害を受けている子どもや家族が多数存在している。被害者を生む制度悪用を放置するわけにはいかない。町のDV等支援措置運用の状況について伺う。
- 町長** DV等支援措置の申請を受け付けた場合、関係各所への意見聴取などによる事実精査を行う。内容に齟齬が判明した場合は、再度申出者へ聴取を行い、措置の妥当性を再検討して、支援の可否を決定している。
- 事実確認をした上で支援措置が不要と判断されれば、措置を解除する場合がある。
- 野田** DV等支援措置の

- そのほかの質問事項**
- 野田** 町人口ビジョンを踏まえた戦略は。町長 子育て世帯と子どもが住み続けたい町をめざす。
- 野田** 町の都市計画の今後は。町長 長期的には人口の減少は避けられないが、しばらく続く人口増加に対応するため、既存の市街化区域の北側に、将来市街化区域への編入を予定した居住設定区域を設定している。



野田祐士議員

先進地  
研修報告

# より良い議会を目指して！

10月27日から29日まで、関西方面への視察研修に行ってきました。目的は、議会の活性化のため、①タブレットの活用状況、②議会活性化への取り組み、③議員報酬の見直し、の3点から先進地の事例を学ぶことです。

## 精華町議会での研修



初日は、京都府精華町議会を訪れました。精華町議会は、「まず、やってみよう」の地方議会～前例主義にこだわらない活性化～、をスローガンにされています。

追認議会から脱却するため、すべての町長傘下の審議会から議員を撤退させています（監査委員には議員がおられます）。また、議会基本条例を制定し「開かれた議会」を目指しています。委員会活動の活性化を目的に通年議会制を取られていますが、「首長に専決をさせない」ことを強調されていました。インターネットで、議会のライブ・録画を動画配信されています。

二日目は大阪府熊取町議会にお邪魔しました。議会内のペーパーレス化を進めており、回収する必要がある文書を除き、全ての文書をデータでやり取り

しているそうです。また、議会事務局発信の文書もペーパーレス化、町長部局からの文書も原則データによるそうです。審議会からの議員撤退はされていませんが、監査委員からは撤退されており、特に問題はないとのことです。議会基本条例を制定されており、自由討議（議員相互間の自由な討議）や反問権（議員の質問に対し、答弁者がその質問の意図や根拠を確認するために逆質問できる権利）を導入、要望があれば議会報告会及び意見交換会を開催されています。また、インターネットでの議会の動画配信に力を入れられ、特別委員会や議員全員協議会も、ライブ配信されています。

今回の研修で学んだことを、本町の議会活性化、開かれた議会の実現などに活かしてまいります。

（報告者 坂井）

## 熊取町議会 での研修



熊取町庁舎近くの  
マンホール蓋



# 益城町の文化財を 知ろう



12月15日、ミナテラスで開催中の令和7年度文化財企画展『戦争の時間旅行者(タイムトラベラー)』の視察を行いました。この企画展は、令和元年度以降、毎年テーマを変えながら行われており、今年度で7回目になり11月22日から1月25日まで開催され、来年度も同じ時期に開催予定です。

奇しくも第2次世界大戦終戦80年の節目にあたる今回のテーマは、益城町に展開した戦争で、町内に伝えられている文化財を中心に貴重な資料が展示されていました。

展示を企画した生涯学習課学芸員の説明により、西南戦争をはじめ、益城町内に様々な戦争の歴史があつたことを知り、とても興味深く視察できました。展示品の多くが益城町内のものであり、いろいろなところに益城の歴史を語る文化財が残されていることにも驚かされ、とても身近に感じ、うれしくもありました。

学芸員の話で、今回の展示品に限らず、数多くの文化財を保管する専用の収蔵庫がない事もあり、加えて、過疎化の中、文化財を受け継ぐ後継者も少ないという話を聞き、「益城のお宝」が散逸しないか危惧されるとともに、益城町内に残す手立てを痛感しました。

また、期間限定の企画展ではなく、様々なものを常設で観覧できれば、より地域を理解し、郷土を愛する心が育まれるのではと感じ、なかでも、益城の将来を担う小中学生の若者にぜひ見学して欲しいと感じました。

今回の見学をとおして、益城町の身近な歴史を学ぶとともに、より益城を愛する気持ちになりました。



西南戦争時、細川家のご令嬢が戦火を逃れるために使用した駕籠



10式艦上戦闘機のプロペラ（津森神宮 蔵）



文化財企画展展示風景

令和8年第1回定例議会は3月9日(月)招集予定です。詳しいことは、議会事務局にお尋ねください。(☎286-3351)

## 議会広報編集特別委員会

委員長 宮崎 金次  
副委員長 西山 洋一  
委員 甲斐 康之  
委員 下田利久雄  
委員 木村 正史  
委員 坂井金次郎

▼私達、広報委員も引き続き、町民の皆様に議会の状況を、わかりやすい言葉で、丁寧にお伝えして行きたいと思います。  
担当 宮崎 金次

▼熊本地震から間もなく10年を迎える我が町も、未来の益城町づくりに進むと考えます。

▼春夏秋冬の季節も、ここ最近では、暑い夏が5月中旬から始まり、10月までの約半年間続き、秋を感じる間もなく、厳しい冬を迎えているよう感じます。

▼今年の夏も、猛暑の連日で大変な思いで過ごされたのではないでしょうか。

## 令和7年12月 益城町議会だより 清水

発行／益城町議会（議長 榎 正敏）編集／議会広報編集特別委員会  
〒861-2295 熊本県上益城郡益城町宮園702 TEL096-286-3351（直通） FAX096-286-4523  
印刷／ホープ印刷（株）



この議会だよりはエコマーク商品の再生紙をつかっています

## 後編 記集

▼今年の夏も、猛暑の連日で大変な思いで過ごされたのではないでしょうか。